



このマンションの最上階に
とびきりの美人が住んでいる

こんにちは

私が住んでいる部屋の
ちょうど真上だ

この天井の上に
あの美人が生活してる

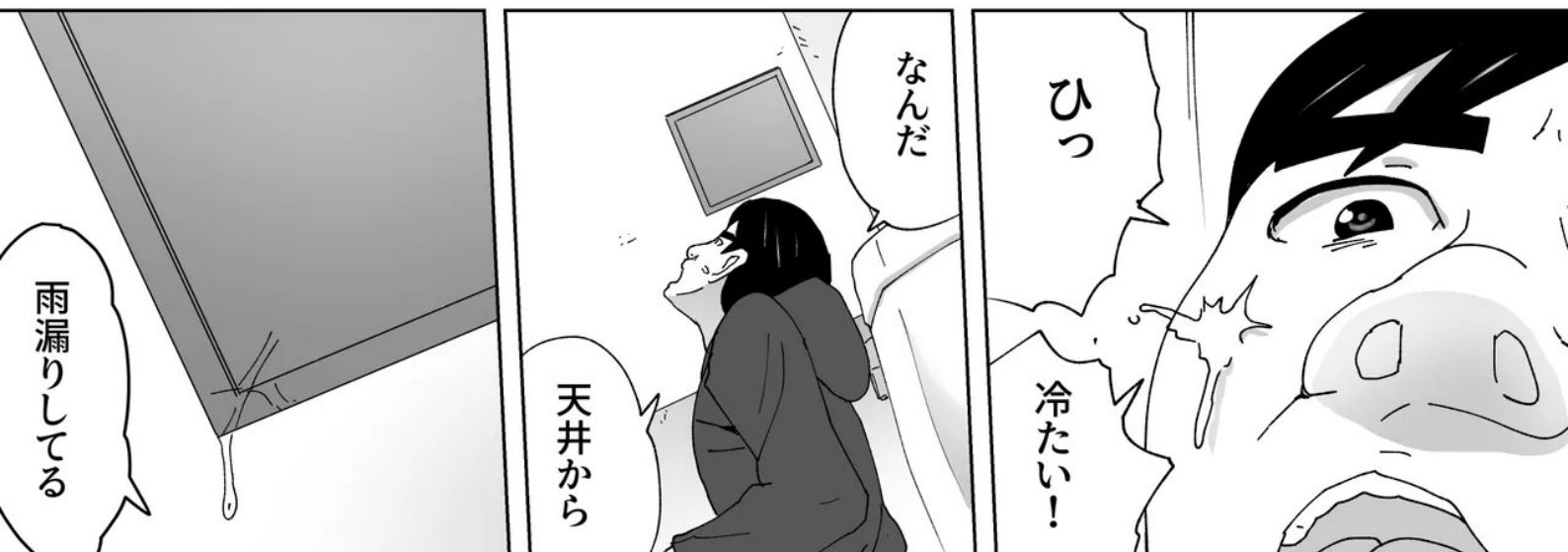
污水管引き込み

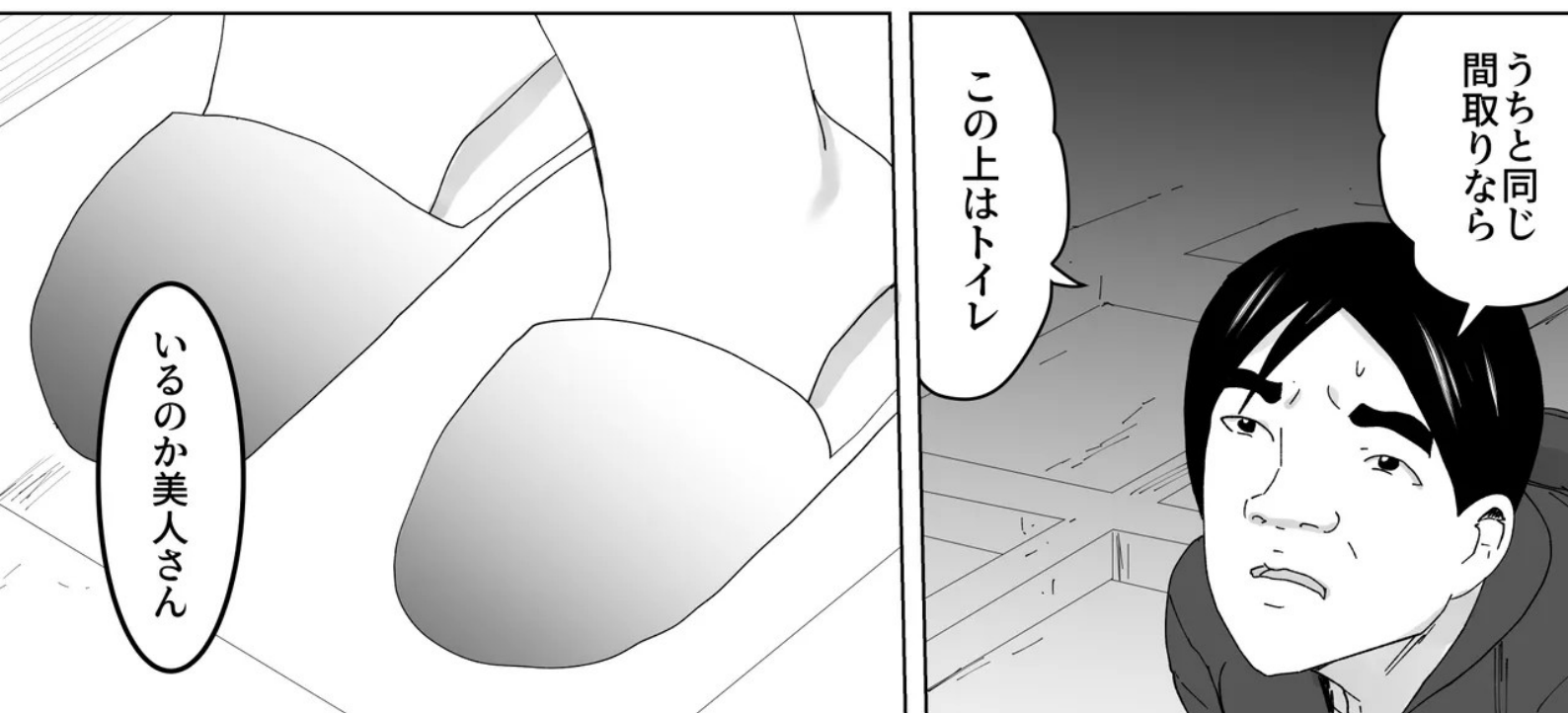
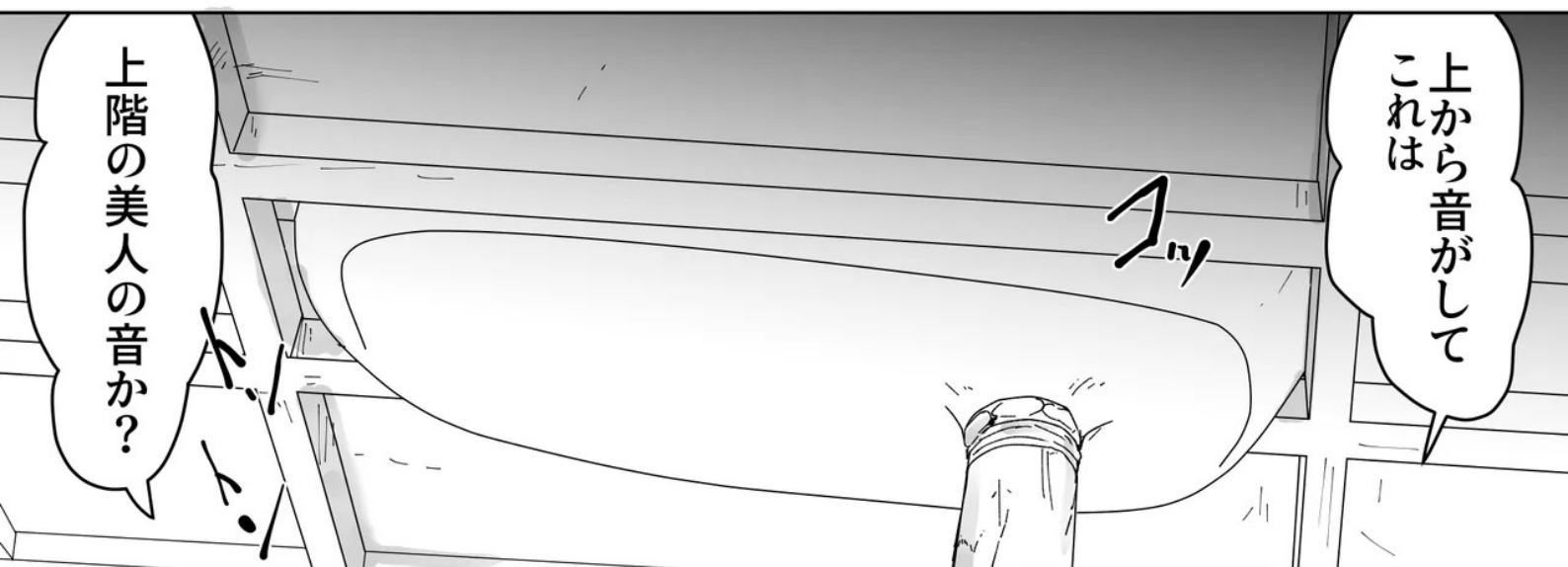
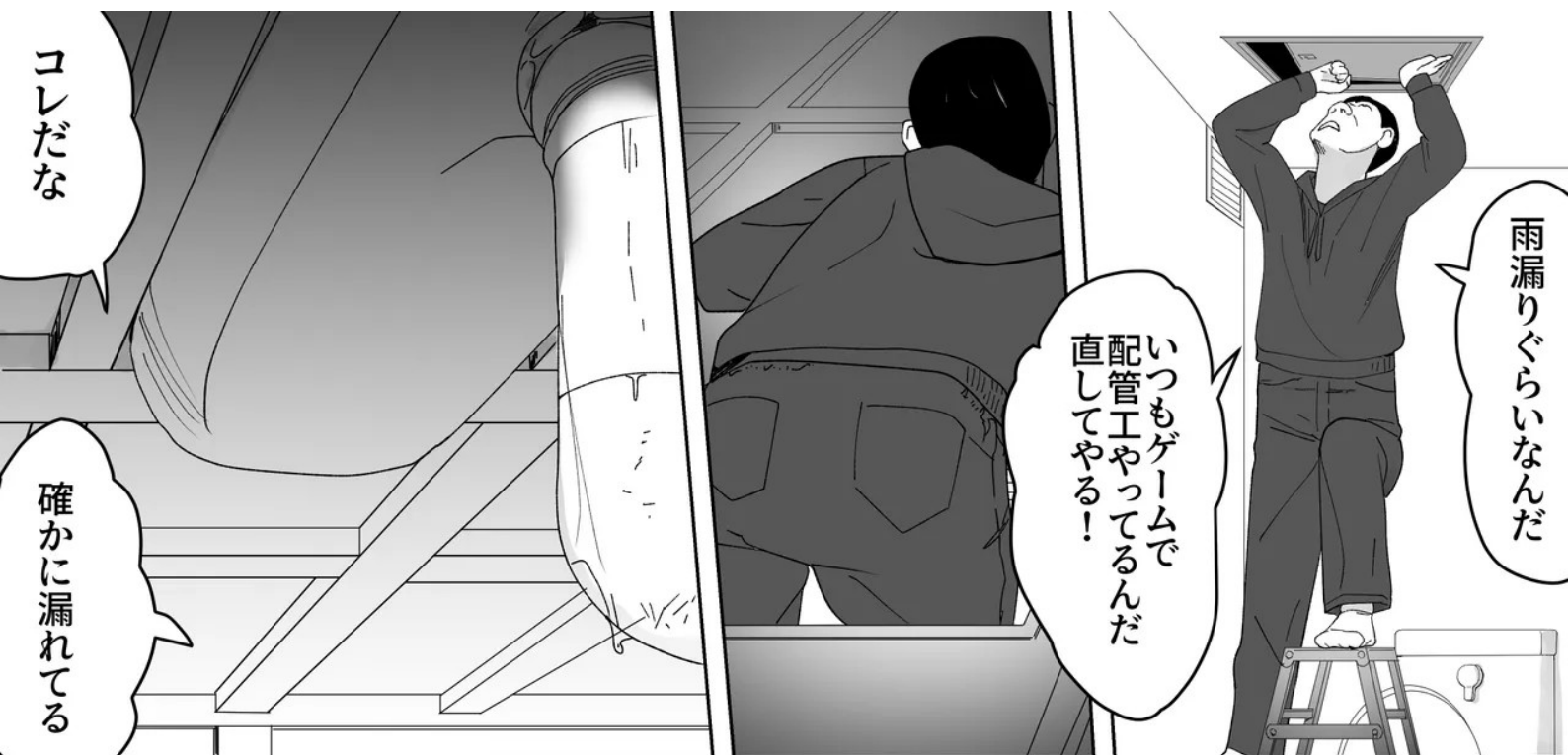
～上階の美人便所～

by三杯酢

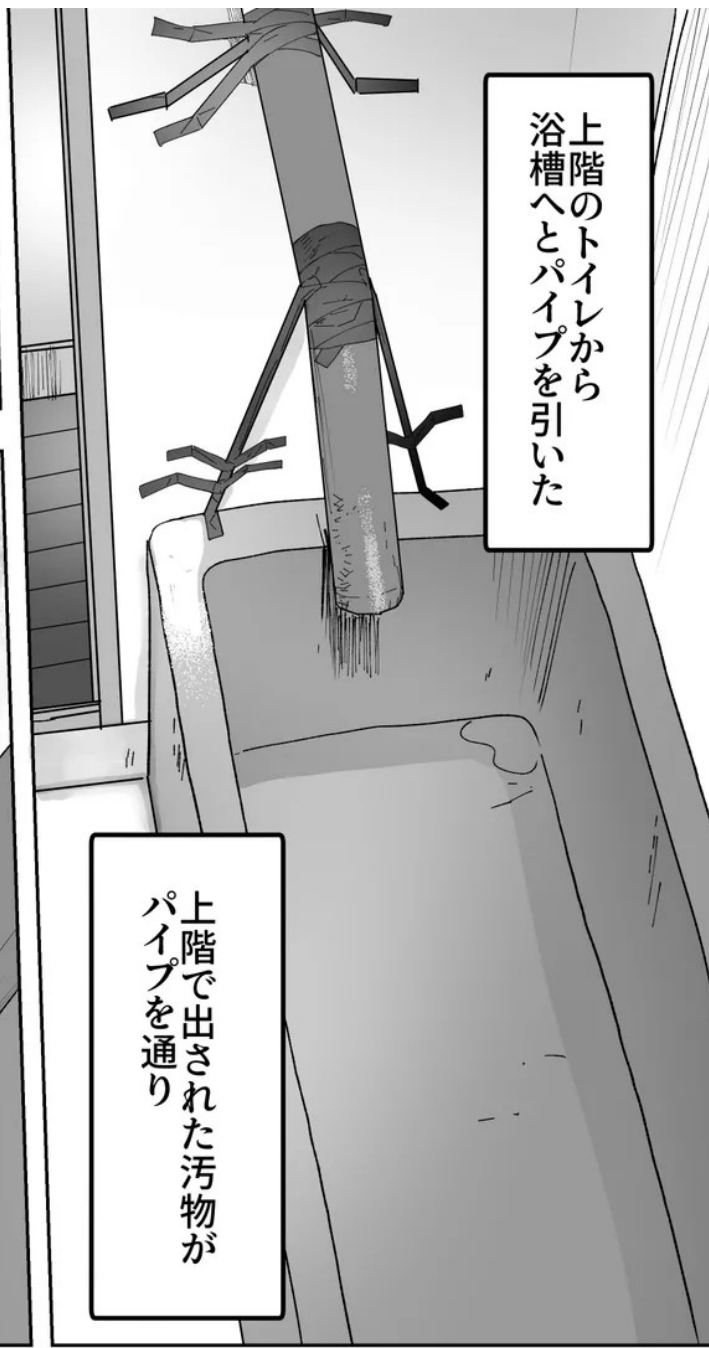
今何を
してるんだろう

天井が透けて
見えたらいいのに









上階のトイレから
浴槽へとパイプを引いた

上階で出された汚物が
パイプを通り

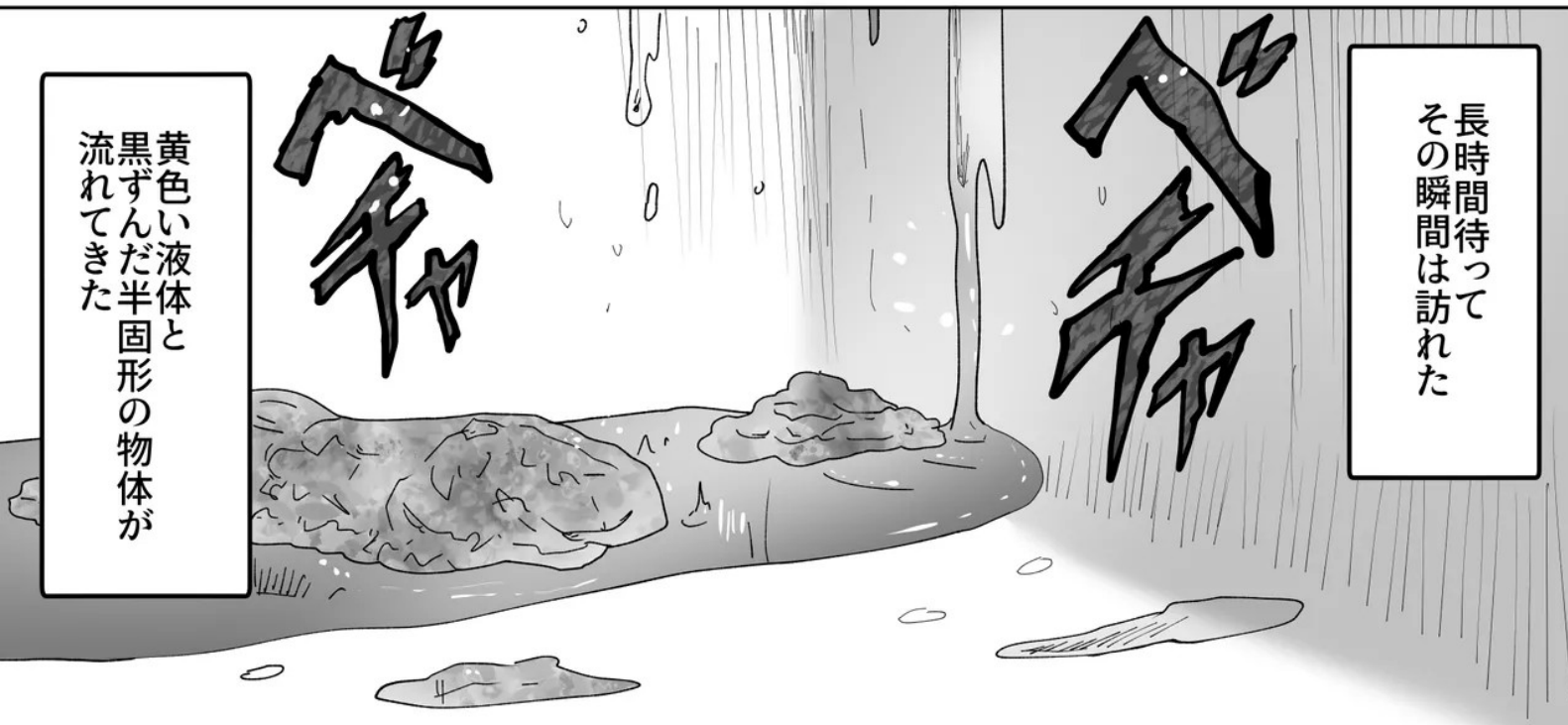


下の階の
バスタブへと
貯まる



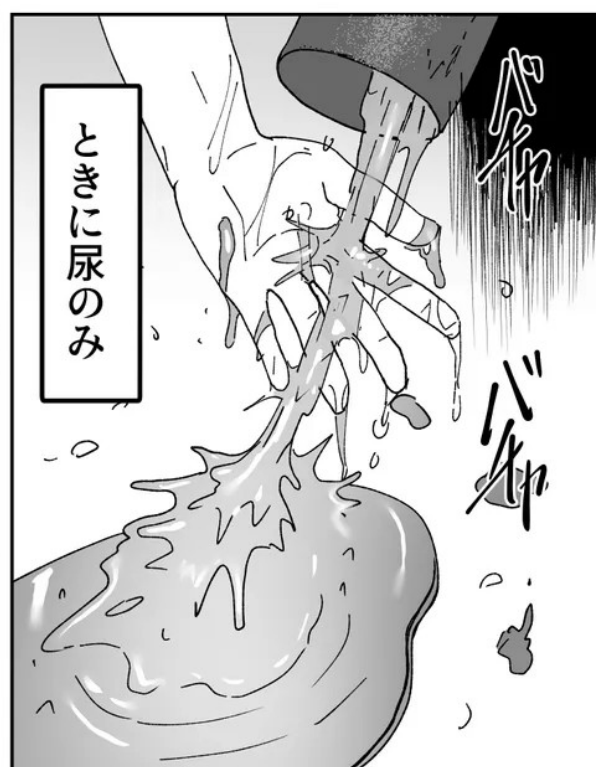
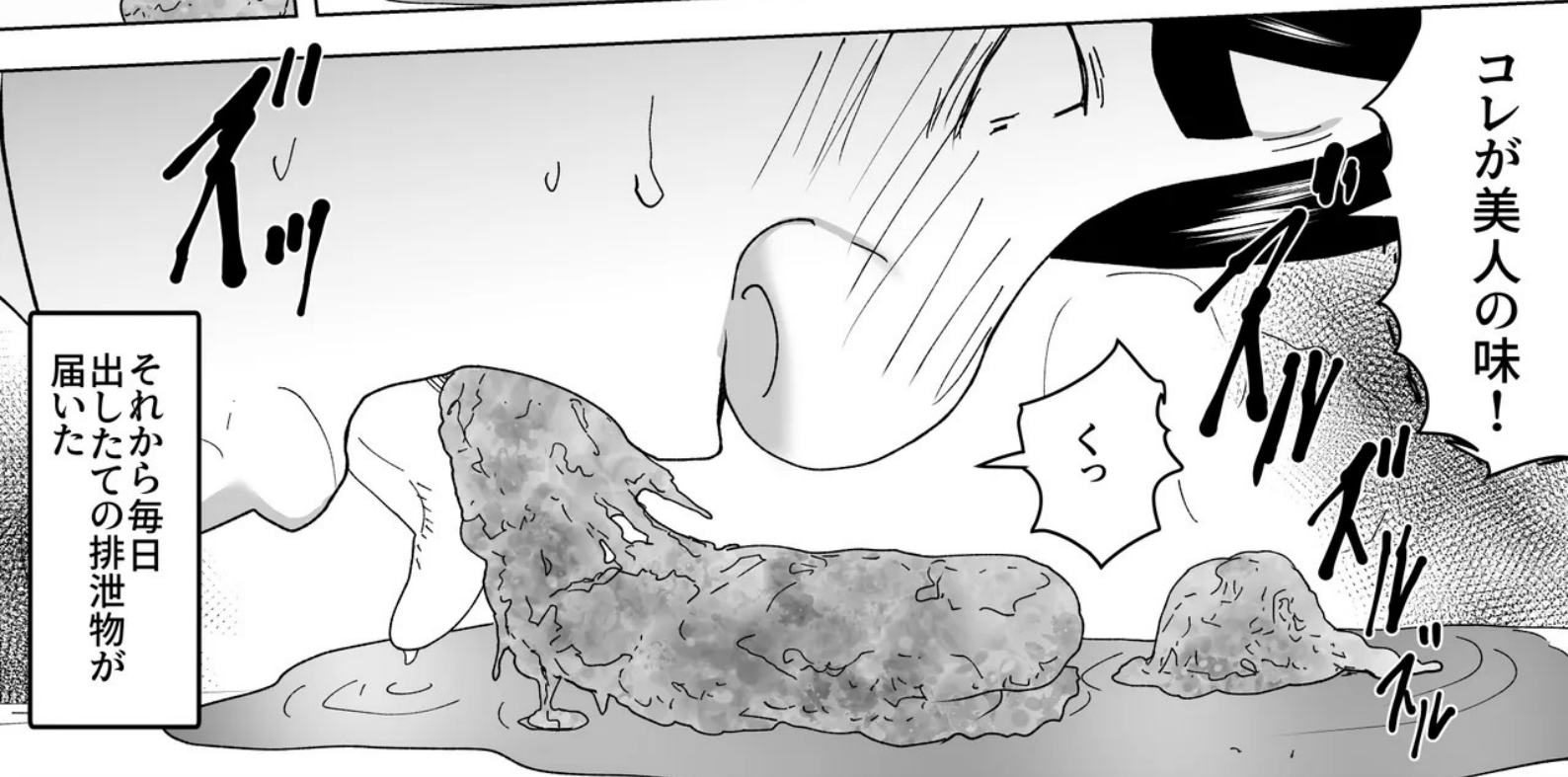
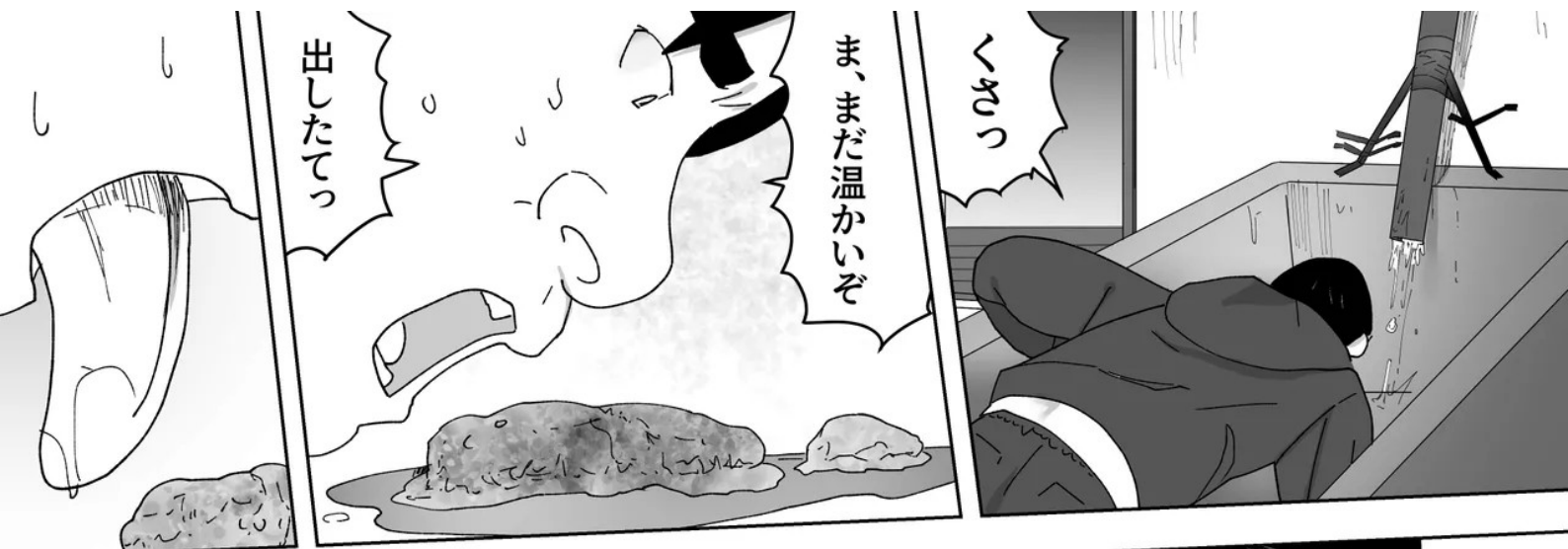
うまくいけば
汚物のすべてを
堪能できるはず

来い、来い来い



長時間待つて
その瞬間は訪れた

黄色い液体と
黒ずんだ半固形の物体が
流れてきた



こら、行儀の悪い

いいじゃん
どうせ胃に入るんだし

明日から
家空けるから



えー
お姉ちゃんの料理が
食べれないなんて

さびしー



ガッ



あつ
トイレ

先に済ませ
なさいよ



はー
大丈夫
大丈夫

留守の間も
ちゃんと
食べなさいよ





ふおおっ
小便はじめたっ

この水音

ハア

ハア

ハア

跳ねる黄色い液体！

間近に見る初めての
生小便！

目的の
美人じゃないが

バク

汚物に優劣はない

皆平等！

バク

バク

静かにうんこが
生まれている

産声を
上げるでもなく

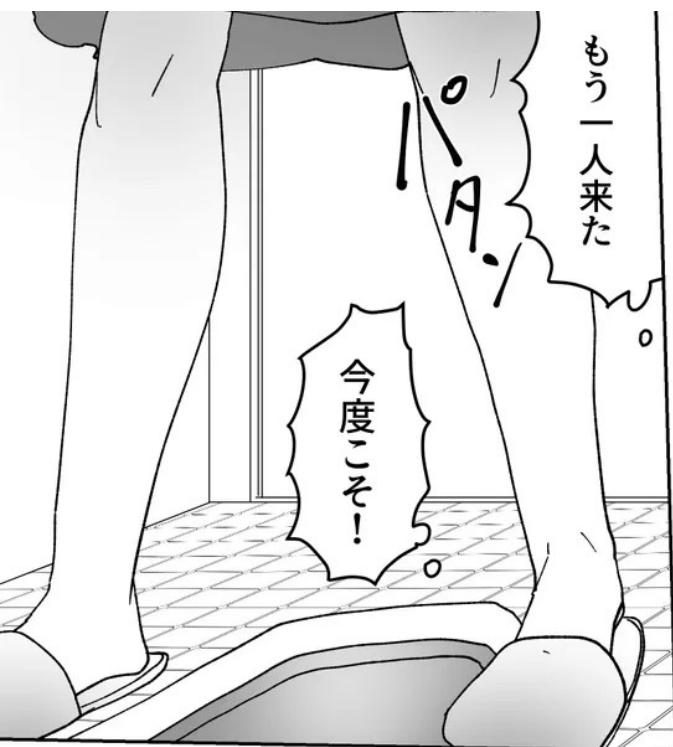
押し出されて
長く伸びる

肛門の太さに
揃えられて

もったいない
すぐに手に取り

赤ちゃんうんこは
無事です

温かいまま
頬張りたい





美人から音を立てて
溢れているーっ



おおっ



ふおおっ



お求め続けた
聖水の源泉だ



なんか視線を
感じるような



.....



あれ、なにこれ

汚れじゃなくて
穴だわ

シヤ
タタタ

パ
パ

こんなところに穴が
あったかしら



まさか...
こっち見てる



この穴

はっ
肛門が

膨らんだ

太くて…
長い！

うんこだ！

だ、出したて
うんこ！

今ここで
手にしたい

出したて新鮮を
この景色を見ながら！

邪魔だ配管

俺が汚水管になる

俺がっ

ごふっ
温かい大便！

口の中に感じる
圧倒的存在感！

口を便器として
使われてる！

強烈な吐き気と
この上ない興奮を
もたらしてくれる





うんこ

なんの音かしら

男の声みたいのに
聞こえたけど

え

うんこ美味いつて
聞こえたような

何が起きてるんだろ

ぽろ

ぽろ

ぽろ

うんこ
うまい、うますぎる

詰まってる

やだあ
流れてない



あら
固いわね

詰まってる
のかしら

ガッ

もつと何度も
突けば



ほらっ！



手応えがなくなった

詰まりが
流れたのかしら



おーっ



